

# 早期景気観測調査

**【10-11月期 調査結果概要報告書】**

平成27年1月



**甲府商工会議所**

## ◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 平成26年11月17日(月)～28日(金)
4. 調査対象： 当所会員157事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 113件
7. 有効回答率： 72.0%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

## ◆結果概要

【10－11月期の動き】

**業況DIは悪化に転じ、  
景況感は再び不透明な状況。  
先行きについては、従業員DIを除く  
全ての項目で改善する見通し。**

10－11月期の全業種総合の業況DIは▲31.0と、前期比から6.4ポイント減少し、悪化に転じた。前期（8－9月期）における業況DIは、従業員DIを除くすべてが改善したが、今期については、前期から一転景況感に停滞が見られた。仕入単価DIは2期連続での改善となったが、売上DI・採算DIが3期ぶりに悪化に転じ、業況改善の足を引っ張る形となった。向こう3ヶ月の業況DIについては、小幅な改善を予測している。

業種別では、小売業・サービス業で業況が改善し、製造業・建設業・卸売業では悪化した。

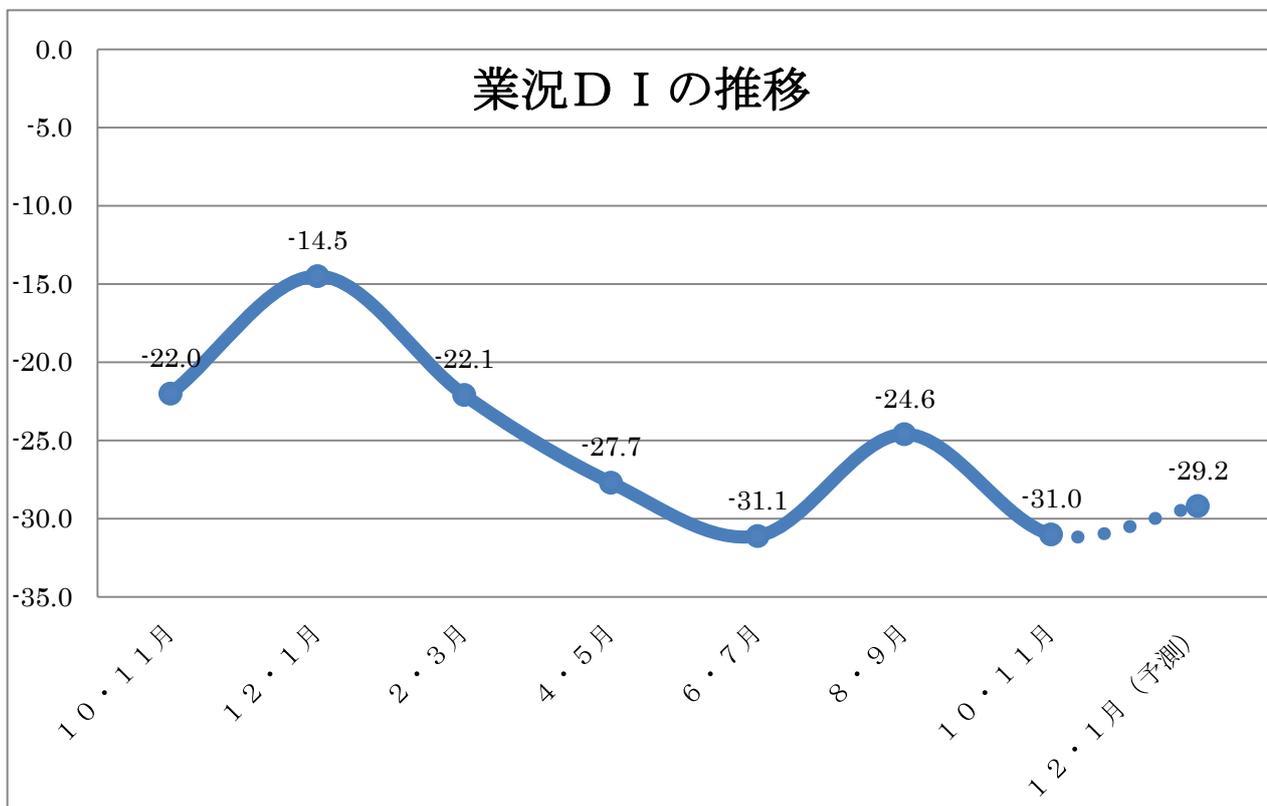
製造業では、売上DI・採算DI・従業員DIが3期ぶりの悪化となり、前期において1年以上続いたマイナス局面から脱した採算DIは、再びマイナスとなった。

建設業については、業況DIは3期連続の悪化となった。売上DIは、4期ぶりに改善に転じたものの、採算DIは2期連続で悪化し、23.0ポイントの大幅なマイナス（▲38.1→▲61.1）となっている。

卸売業では、売上DIが52.1ポイントの大幅な悪化（4.5→▲47.6）に転じ、採算DIについても3期ぶりに悪化に転じている。しかしながら、今後の見通しについては大幅な改善を予測している。

小売業では、業況DIが2期連続での改善となり、35.4ポイントの大幅なプラス（▲40.6→▲5.2）となった。一方で、売上DI・採算DI・仕入単価DIは悪化に転じており、とりわけ売上DIは28.4ポイントの大幅なマイナス（▲40.6→▲69.0）となっている。

サービス業については、業況DIが、26.8ポイントの大幅な改善（▲14.3→12.5）に転じた。また、売上DI・採算DI・仕入単価DIについても、いずれも改善しており、とりわけ仕入単価DIは、33.9ポイントの大幅なプラス（▲71.4→▲37.5）となった。



## ◆全業種・業種別詳細

### ※ D I 値 ( 景況判断指数 ) について

D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

### ◆指標の見方

前回D I に比べて ( 先行は今回実績値に比べて )		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「↗」 ( 改善 ) と表示しております。  
従業員D I は、従業員が不足している場合、「↗」 ( 改善 ) と表示しております。

## ◆全業種総合

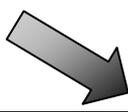
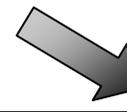
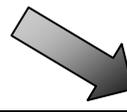
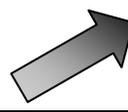
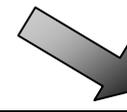
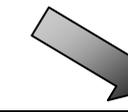
業況	業況 ( 先行 )	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 31. 0	▲ 29. 2	▲ 31. 0	▲ 35. 4	▲ 48. 7	9. 7	▲ 2. 7

10-11月期の全業種総合の業況D I は、**▲31. 0** ( 前期比-6. 4ポイント ) となり、悪化に転じた。売上D I ・採算D I についても、ともに3期ぶりに悪化に転じているが、一方で仕入単価D I は2期連続での改善となった。従業員D I については改善、金融貸出しD I については悪化に転じている。

業況の先行きに関しては、▲29. 2ポイントと小幅な改善を予測している。また、金融貸出しD I を除く全項目においても改善の見通しである。

## ◆ 業種別

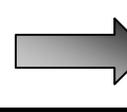
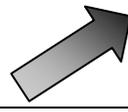
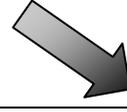
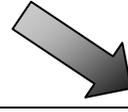
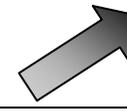
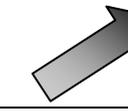
### 製造業

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 6. 9	▲ 3 1. 0	▲ 1 0. 3	▲ 1 3. 8	▲ 3 4. 6	▲ 3. 4	▲ 6. 9

業況D Iは、3期ぶりに悪化に転じた。また、売上D I・採算D I・従業員D Iについても3期ぶりの悪化となった。その一方で、仕入単価D Iは2期連続で改善している。金融貸出しD Iは、悪化に転じた。

業況D Iに関する今後の見通しについては、大幅な悪化を予測している。

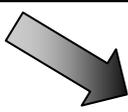
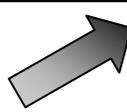
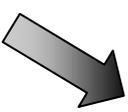
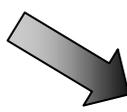
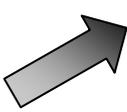
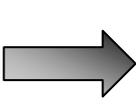
### 建設業

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 4 4. 4	▲ 4 4. 4	▲ 2 2. 2	▲ 6 1. 1	▲ 7 7. 8	3 3. 3	0. 0

業況D Iは、3期連続の悪化となった。売上D Iは、4期ぶりに改善に転じたものの、採算D Iは2期連続で悪化し、仕入単価D Iも悪化に転じている。とりわけ、採算D Iは23. 0ポイントの大幅なマイナスとなっている。従業員D I・金融貸出しD Iについては、改善に転じている。

業況D Iに関する今後の見通しについては、横ばいを予測している。

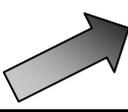
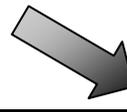
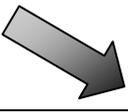
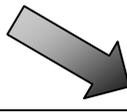
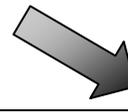
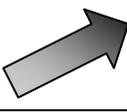
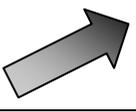
◆ 卸売業

業況	業況 (先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 5 2. 4	▲ 2 3. 8	▲ 4 7. 6	▲ 2 8. 6	▲ 5 2. 4	9. 5	0. 0

業況D Iは、悪化に転じた。売上D Iは52. 1ポイントの大幅な悪化に転じ、採算D Iについても3期ぶりに悪化に転じた。一方で、仕入単価D Iは改善に転じ、従業員D Iについても4期ぶりに改善に転じた。金融貸出しD Iについては、横ばいとなっている。

業況D Iに関する今後の見通しについては、大幅な改善を予測している。

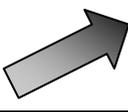
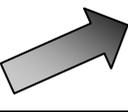
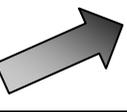
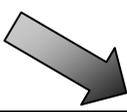
◆ 小売業

業況	業況 (先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 5. 2	▲ 3 4. 5	▲ 6 9. 0	▲ 6 2. 1	▲ 4 8. 3	1 0. 3	0. 0

業況D Iは、2期連続での改善となり、35. 4ポイントの大幅なプラスとなった。しかしながら、売上D I・採算D I・仕入単価D Iは悪化に転じる結果となった。とりわけ、売上D Iは28. 4ポイントの大幅なマイナスとなっている。従業員D I・金融貸出しD Iについては、ともに改善している。

業況D Iに関する今後の見通しについては、大幅な悪化を予測している。

サービス業

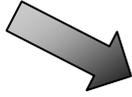
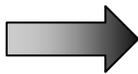
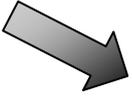
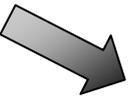
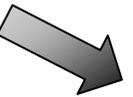
業況	業況 (先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
1 2. 5	▲ 6. 3	1 2. 5	▲ 6. 3	▲ 3 7. 5	6. 3	▲ 6. 3

業況D Iは、26. 8ポイントの大幅な改善に転じた。また、売上D I・採算D I・仕入単価D Iについても、いずれも改善しており、とりわけ仕入単価D Iは、33. 9ポイントの大幅なプラスとなった。一方で、従業員D I・金融貸出しD Iは小幅な悪化となっている。

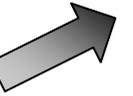
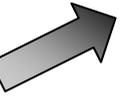
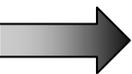
業況D Iに関する今後の見通しについては、悪化を予測している。

◆ 業種別詳細

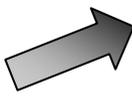
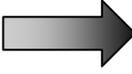
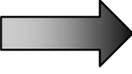
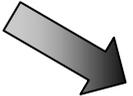
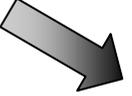
◆ 製造業（食品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

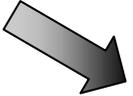
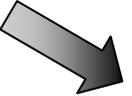
◆ 製造業（家具）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

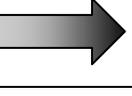
◆ 製造業（工業製品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

◆ 製造業（宝飾）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

◆ 製造業（繊維）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

◆ 建設業（建築）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

◆ 建設業（土木）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

◆ 建設業（鉄鋼）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

◆ 卸売業（食品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

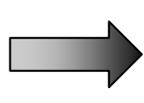
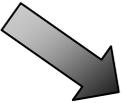
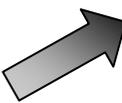
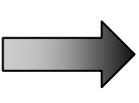
◆ 卸売業（繊維）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

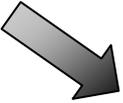
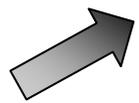
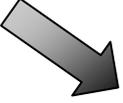
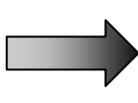
◆ 卸売業（その他）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

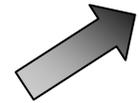
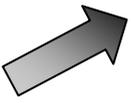
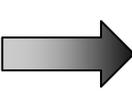
◆ 小売業（大型店）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

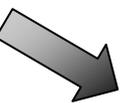
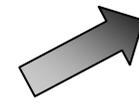
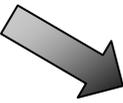
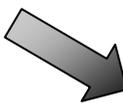
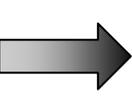
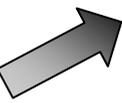
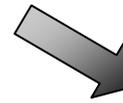
◆ 小売業（食料品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

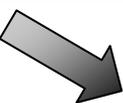
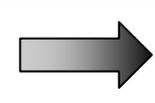
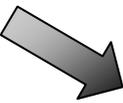
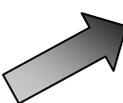
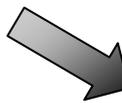
◆ 小売業（事務用品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

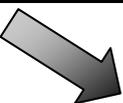
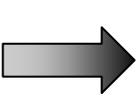
◆ 小売業（趣味・日用品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

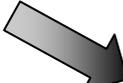
◆ 小売業（家電）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

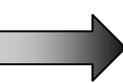
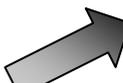
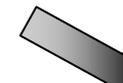
◆ サービス（ホテル・旅館）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

◆ サービス業（観光）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

◆ サービス業（飲食その他）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

➤ 中小企業の声（現状や直面してる課題）

【製造業】

➤ 製造業（食品）

- ・11月、12月と今年も繁忙期へと入りました。酒造りも本格的に始まり、業界としても、弊社としても、活気が出てまいりました。来年に向けていいシフトができるよう取組みをしています。
- ・年末商材の動き、前注が順調。おせちに関しては昨年対比で10%upを見込んでいる。円安の為、原料産地との交渉・開発が来期に向けて進捗。

➤ 製造業（工業製品）

- ・円安の影響で仕入単価が高くなり、見積りした時期との差が多くなり、輸入業者として為替が安定してくれないと困ります。
- ・中国新興スマホメーカーの中低価格品が急激に市場シェアを拡大しており、世界の圧倒的な2大メーカーが席巻してきたスマホ業界に大きな地殻変動が起きている。スマホの基幹部品の1つである水晶振動子などのデバイスを供給する我が業界の各社は、競争の激化による価格下落に苦慮している。
- ・素材の仕入れ値が12月に再度値上げされる製品があります。来年も値上げ + 消費増税…。原発関係で、電力の影響で材料メーカーは値上げを更に行うと予想。

## 【卸 売 業】

- 卸売業（食品）
  - ・原材料高で、販売値を上げるのにタイムラグがあり、収益が少々減ります。
  - ・食品原料のアップ
  - ・消費の低迷と円安による漁価高で売上げ減少。
  
- 卸売業（その他）
  - ・向こう3か月の好転予想は季節要因によるものであり、昨年同時期に比較しては悪化の予想。
  - ・円安による仕入単価の上昇。

## 【建 設 業】

- 建設業（建築）
  - ・公共工事が前年度比 40%程度と少ない。特に甲府市内。
  - ・忙しいけど利益が上がらない。建築をされる方々が、建築業界の資材高、人工代の高騰により値上がる仕組みの理解はしているが、現実的になるとなかなかそうはっていない、と総合建設会社様にはよく聞きます。
  
- 建設業（土木）
  - ・RC（鉄筋コンクリート）づくりの建設単価上昇中。人手不足もあって、今後深刻になる事でしょう。
  
- 建設業（鉄鋼）
  - ・見積り物件が少なくなり仕事量が減ってくると思われます。

## 【小 売 業】

- 小売業（趣味・日用品）
  - ・10月の初め頃より売上が落ち始めた。当店ばかりでなく、業界もそのようだという問屋筋の話もある。
  - ・売上高、来店客数ともに減少傾向です。衆院選、地方選等を控え、あまりいい材料はなさそうです。

- 10月迄は増税の影響、天候の悪化等により前年割れでした。やっと今月から100%が見えはじめました。
- 消費税の値上げと天候の不順（台風）により悪化している。去年に比べて客数が減っている。

➤ 小売業（家電）

- 忙しく人手不足。
- 景気非常に悪い。

## 【サービス業】

➤ サービス業（ホテル）

- 秋の観光シーズンの為、土日祭日連休の時は予約者も増えました。紅葉を見ながらワイナリー、酒造、サントリーなどをまわる観光客が多かったです。週末だけの利用客でなく、仕事の長期利用者が増えてほしいと思います。

➤ サービス業（観光）

- 仕入単価、及び物価の高騰が利益を圧迫している。価格に転嫁できない状況。全体的に観光客が入り込んでないのでは。
- 個人消費が増えていません。
- 燃料（軽油）単価が夏をピークに下降傾向となり、10-11月はほぼ前年並みの水準にまで落ち着いている。
- 10月より運賃の値上げを行った。（設備投資の為。）例年に比べ、観光客数は減少したが、その分は値上げでカバーできたという状況。

➤ サービス業（飲食その他）

- 国際自然保護連合は絶滅危惧種にクロマグロ、アメリカウナギ等を指定した。政府も中国・韓国・台湾と協力して、稚魚のシラスウナギの漁獲量を削減することとしている。自然に生息している生物は、人間が食料として消費している限り絶滅の危機になっている。人類の知恵を総動員して、人工的に繁殖する技術を開発していかなければならない。
- ウナギは仕入単価がやや下がりはじめ、その分使いやすくなり、利益も上向いてきた。